

## キス（シロギス）の釣り方・誘い方（乗合船の場合）

### 1 はじめに

「たくさん釣る」ことをモットーにしています。釣れた時のことを繰り返し再現すれば、たくさん釣れるはずです。そのために記録を残しています。これまでの記録から、乗合船でキス（シロギス）をたくさん釣る方法や誘い方をまとめました。

### 2 乗合船でのキスの釣り方・誘い方 —基本的なところ—

乗合船では一般的には流し釣りである。

- 仕掛けを真下に落としても釣れるが、たくさん釣るには投げて釣る。  
投げた方が広く探ることができる。
- 安全配慮のため、投げる時はアンダースローで投げる。
- 竿は立てて釣る。（隣の方に迷惑をかけないためにも竿は立てて釣る。）
- 仕掛けが着底したら、仕掛けが同じ場所に留まるようにし、誘いをかけて喰わせるという方法で釣る。

### 3 乗合船でのキスの釣り方・誘い方 —具体的な方法—

#### (1) 仕掛けが船の下に入っていく時 → 前方に投げる

- ①仕掛けを前方に投げる。着底したら、素早く糸ふけを取る。
- ②仕掛けが自分の方に戻ってくるので、いつでも糸がピンと張っている状態にする。
- ③時々、誘いをかける。
- ④仕掛けが足下まで戻ってきたら、①からやり直す。

#### (2) 仕掛けが船から遠ざかったいく時 → そのまま下に落とす

- ①仕掛けを海中につけて、しばらく待つ。仕掛けがなじんだら、海底まで落とす。  
○仕掛けを竿先からそのまま落とすと、仕掛けが天秤や道糸に絡むことがある。  
これを防ぐために、仕掛けを海中につけてなじませる。  
○船の移動が遅い時は、正面に投げる。
- ②道糸を出しながら、竿を立てる。
- ③仕掛けが沖の方に遠ざかっていくので、それに合わせて、竿先を下げっていく。  
仕掛けが海底で動かない状態に、かつ糸は常にピンと張った状態にしつつ、竿先を下げっていく。
- ④時々、誘いをかける。
- ⑤竿先が水面の方に向いたら、もう一度、道糸を出しながら、竿を立てる。③④を行う。
- ⑥これを2～3回繰り返したら、①からやり直す。

#### (3) 投げた仕掛けが船の後方(前方)へ動いていく時

- 自分の正面に向かって、左45度から右45度の範囲で釣る。（隣の方に迷惑をかけない範囲で）
- ①投げた仕掛けが船の後方(前方)に流されていくので、前方(後方)へ投げる。
- ②仕掛けが着底したら、素早く糸ふけを取る。
- ③仕掛けが後方に流されていくので、それに合わせて、竿先を後方へ向けていく。  
仕掛けが海底で動かない状態かつ糸は常にピンと張った状態にしつつ、竿先を後方へ動かしていく。
- ④時々、誘いをかける。
- ⑤限界まで来たら、①からやり直す。

#### (4) 風も潮も止まり、船が移動しなくなった時

- 正面に向かって、投げて釣る。
- 誘いは時々さびくこと。さびく代わりに、竿先を上にあおるという方法もある。

#### 4 誘い方

- 竿先を1回‘チョン’とあおる
- 竿先を2回‘チョンチョン’とあおる。
- 1回の時と2回の時では釣果が変わったことがあった。  
→ 2019年6月29日 玉や(木曾岬) キス 自分36尾 (誘い1回) ツレ63尾 (誘い2回)
- これまで、誘いを自分は1回、ツレは2回入れていた。以前から、自分が釣れる時間帯とツレが釣れる時間帯とにずれがあると話していた。誘い方の違いが原因の一つだったように思う。

#### 5 誘いの頻度

- 誘った方がよく当たる。
- 誘いすぎると当たらない時がある。こんな時は誘いすぎない。誘いと誘いの間隔を広く取る。
- 置き竿の方がよく釣れる時がある。この時は誘わない方がよい。
- キスの活性により誘いの頻度を変える。

#### 6 当たりがあった時

- 合わせない。よく食い込むまで待つ。即合わせは絶対にダメ。
- 竿先を送り込む(引っ張るのではなく、反対に、竿先を道糸の先の方へ出す)。特に、ついばんでいるような小さな当たりの時は、送った方がよい。
- 送り込むことによって、即合わせを避けることになり、よく食い込むまでの時間を作ることになる。

#### 7 その他

##### (1) メゴチが多い時

キス釣りの外道でよくメゴチが掛かります。メゴチ対策を考えました。

- メゴチの当たりが分かり、メゴチが掛かったなと思った時は、仕掛けを回収していた。これでは時間の無駄である。2本鉤仕掛けであることから、メゴチの当たりがあっても、そのまま、誘いを掛けたり、待ちたりした方が効率が良いかもしれない。(竿はメゴチの当たりが分かるように穂先を細くしてある。)
- メゴチが多い場所では、メゴチが喰わないように、仕掛けを頻繁に動かしてみる。
- メゴチの小さな当たりがあった時は、メゴチが喰わないように、仕掛けを頻繁に動かしてみる。または、大きく竿を振り、メゴチから仕掛けを遠ざけて見る。

##### (2) 藻が多い、餌取りが多い時

- 藻が付いていると釣れない。
- 餌取りが多く、餌がなくなる。餌がなければキスは釣れない。
- 誘いをかけるなどしても当たらないと感じたら、餌の点検をする。
- メゴチかキスがいれば、当たりがあるはず。当たりがないのは、当たりの分からない餌取りに餌を取られているか、藻がついているかということだろう。

#### 8 おわりに

たくさん釣るには、当日のキスの活性を見極めことです。誘わないと釣れないが、誘いすぎても釣れません。このことを常に頭に入れておくと良いと思います。